

時間割コード	G1D11720	開講年度	2026			
授業題目	クリティカル・リーディング（初級）				担当教員	矢亀 尋美
英文授業名	Critical Reading					
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・4時限	対象学生
講義室	共通教育5 6 講義室		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	大学D P					
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	Critical Reading では、専門課程での学術探究に寄与するAcademic Skills (Critical Reading & Critical Thinking) の向上を目指し、多様な内容・スタイルのアカデミックな英語をクリティカルに読み、自分の意見や考えを批評的に述べる力を育成する。 様々なジャンルの英文（雑誌・新聞、文学作品、映像作品のスク립ト、討論、講義、講演等）の内容や意図を正確に把握し、分析・解釈・評価等を行うことにより、アカデミックな英文をクリティカルに読み解く姿勢を身につけていく。その際、クリティカルな読解力・思考力の育成に配慮した教材を用いて、分析、解釈、評価などのスキルが身につくよう工夫する。 （Critical Readingとは、単に文章を訳し理解する受動的な読解のことではなく、より積極的に文章の内容や意図を吟味し、分析・解釈・評価する読解のことを意味する。）					
(5)授業のキーワード	Critical Reading Critical Thinking					
(6)授業計画	1. Orientation ガイダンス 2. Unit 1 Chapter 1 Reading 3. Unit 1 Chapter 1 Critical thinking 4. Unit 1 Chapter 2 Reading 5. Unit 1 Chapter 2 Critical thinking 6. Unit 1 Chapter 3 Reading 7. Unit 1 Chapter 3 Critical thinking 8. Unit 2 Chapter 4 Reading / 小テスト (Unit 1) 9. Unit 2 Chapter 4 Critical thinking 10. Unit 2 Chapter 4/5 Reading 11. Unit 2 Chapter 5 Reading 12. Unit 2 Chapter 5 Critical thinking 13. Unit 2 Chapter 6 Reading 14. Unit 2 Chapter 6 Critical thinking 15. 小テスト (Unit 2) / まとめ、授業アンケート 16. 期末テスト					
(7)成績評価の方法	・ 授業時に出されるAcademic skills に関する課題、小テスト(50%) ・ 期末テスト(50%)					
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。					
(9)事前事後学習の内容	この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。授業が滞りなく進めるようにテキストの予習や授業時に出された宿題をやるようにしてください。また小テストがあるので、復習をかねてその準備をしましょう。					
(10)履修上の注意	・ 授業への積極的な参加と定期的に出題される課題への意欲的な取り組みが必要です。また、授業外の時間になるべく多く英語に触れる機会をつくるようにしましょう。英英・英和・和英辞典を常に持参してください。またオンライン上での活動もあるので、充電したPCやタブレット等を持参してください。 ・ 授業開始から30分までの入室は遅刻扱い、30分以降は欠席扱いとします。なお、遅刻 3 回で欠席 1 回とします。					
(11)質問,相談への対応	授業日（月曜日）の授業時間の前後の休み時間に講師室あるいは教室にて、またメール(hiyakm@shinshu-u.ac.jp)にて受け付けます。					
(12)授業への出席	・ 全ての回に出席することを基本とします。 ・ 授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外					

(12)授業への出席	(評点は0点)となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください(『共通教育履修案内』参照)。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法(『共通教育履修案内』参照)により、共通教育窓口で申請してください。(この場合は、出席扱いにはなりません。)
【教科書】	タイトル： READING FOR TODAY 3: ISSUES Fifth Edition 著者： Lorraine C. Smith and Nancy Nici Mare 出版社： CENGAGE Learning ISBN: 9781305579989 本体価格： 3680円
【参考書】	指定しない。